

【一】 次の文章は、容姿を整える美容整形、運動能力を増強するドーピング、身体を機械化するサイボーグ化など、人間の心身に介入し、改造するさまざまな仕方の良し悪しについて倫理的に検討してきたあとに述べられるものである。よく読んで、後の問いに答えなさい。

著作権法の規定により、文章は公開いたしません。

問一 傍線部 1 「ソウシヨク」 2 「キユウキヨク」 3 「カジヨウ」 4 「キヨクタン」 5 「オダ（やか）」を漢字に直しなさい。

問二 二重線部 a 「閉塞感」 b 「否応なしに」 c 「一理ある」 d 「度外視する」の意味として、もつとも適当なものを次の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

- a ア 不況が続く、景気回復が感じられないさま
- イ 状況が打開できず、先行きが見えない感じ
- ウ 社会の格差が広がり、人々が不満を持つ様子
- エ 景気が次第に回復していくことに対する期待感
- オ 高度に進化する社会システムに置き去りにされる感覚

- b ア 文句を言わせないさま
- イ 一刻の余裕もないさま
- ウ 多くの人が賛成しないさま
- エ 運命として決まっているさま
- オ 止めようとしても止められないさま

- c
- ア こじつけた理屈である
- イ 一つの解釈にすぎない
- ウ 的はずれの理由である
- エ いちおう道理にかなっている
- オ 一般的には筋が通っている

- d
- ア 否定する
- イ 重要視する
- ウ 無関心である
- エ 問題にしない
- オ 不必要なものとする

問三 空欄Aを補うのに、もっとも適当なものを次の中から選んで、記号で答えなさい。

- ア 社会を改革する
- イ 自身を改造する
- ウ 道具を改善する
- エ 自分が得をする
- オ 社会を維持する

問四 波線部 a 「より強いもの、より優れたものがとにかく求められ、弱者は無駄なもの、足を引つ張るものとして排除されます」とあるが、こういう考え方を何というか、本文中から抜き出して答えなさい。

問五 波線部 b 「真のスポーツの姿だと彼らは考えていました」とあるが、彼らの考えていた「スポーツの姿」としてもっとも適当なものを、次の中から選んで、記号で答えなさい。

ア 生身の人間が苦しいトレーニングをするよりも、筋肉増強剤を利用して肉体を改造し、限界に挑戦する。
イ 苦しいトレーニングをするのは当然だが、筋肉増強剤も利用して肉体を改造し、人間の限界に挑戦する。
ウ 筋肉増強剤に頼ることなく、生身の人間のトレーニングのみによって肉体を作り上げ、限界に挑戦する。
エ 筋肉増強剤よりも、安全な範囲の興奮剤を試合直前に摂取し、集中力を高めて、人間の限界を突破する。
オ 一人の選手が薬物を利用するのは公平ではないが、チーム全員が利用して、競技レベルをアップさせる。

問六 波線部c「機械化による寿命の延長」とあるが、寿命を延長する機械としてもつとも適当なものを次の中から選んで、記号で答えなさい。

ア 義手・義足

イ 補聴器

ウ 人工関節

エ 人工心臓

オ 老化予防サプリメント

問七 波線部d「社会の状況によってはどちらかの方向に誘導されがち」とあるが、誘導するものの例として**適当ではないもの**を選んで、記号で答えなさい。

ア カジヨウな成果主義と効率化のシステム

イ 共助の精神の希薄化

ウ 自己責任の風潮

エ コントロール欲を刺激する製品や広告

オ 良い方向に向かえる強靱な精神

問八 本文の主旨にもつとも合致するものを次の中から選んで、記号で答えなさい。

ア 競争社会では、成功するのも失敗するのも自己責任であるから、失敗しないように個人の努力が必要である。

イ 競争社会で得するためには、美容整形はもちろん、体力増強の薬物利用や老化予防の薬物利用が欠かせない。

ウ 成功も失敗も自己責任とされる社会では、停滞を突破するためには、自分自身の心身の変更も必要である。

エ 責任を個人にばかり押し付けず、社会の効率化を否定ばかりもせず、おおらかに生きられる世の中がよい。

オ 美容整形やドーピングは、臓器移植とは違い、本当の自分、本当の実力とはいえないので、好ましくない。

【二】 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権法の規定により、文章は公開いたしません。

問一 傍線部1「利他」について次の問いに答えなさい。

(1) 対義語を書きなさい。

(2) 「利他」はどのような心情か、本文中から二〇字以上、一五字以内で抜き出して答えなさい。

問二 空欄A、C、D、Gを補うのに、もっとも適当なものを次の中から選んで、記号で答えなさい。

A ア しかし イ けれども ウ たとえば エ あるいは オ また

C ア ジリジリ イ モヤモヤ ウ ムカムカ エ イライラ オ カリカリ

D ア やはり イ または ウ むしろ エ しかも オ さらに

G ア むしろ イ たとえ ウ しかし エ やはり オ つまり

問三 傍線部2「まるでバスガイドのように」とあるが、このような修辞法を何というか、もっとも適当なものを次の中から選んで、記号で答えなさい。

ア 直喩 イ 隠喩 ウ 倒置法 エ 擬人法 オ 擬態語

問四 空欄Bを補うのに、もつとも適当なものを次の中から選んで、記号で答えなさい。

- ア 他人の説明を聞いて自分なりに世界を想像する
- イ 自分の聴覚や触覚を使って自分なりに世界を感じる
- ウ 人の説明を聞く前に自分の力で自由に世界を思い描く
- エ むかし見えていた世界を記憶の中から思い出して楽しむ
- オ 自分の想像力を使って描いた世界を他人の説明によって確認する

問五 傍線部「一回怒られたよ」とあるが、なぜ怒られたのか、その理由としてもつとも適当なものを次の中から選んで、記号で答えなさい。

- ア 人から親切にされているのに素直に受け入れて喜ばないから。
- イ できるのにできないふりをして人からの親切を当てにしているから。
- ウ 人から親切にされるのを当たり前として感謝の気持ちを持っていないから。
- エ 人から親切にされているのに自立心を奪っていると勘違いしているから。
- オ 親切にしているのにいろいろとくどく質問するのが反抗的に思われたから。

問六 空欄Eを補うのに、もつとも適当なものを次の中から選んで、記号で答えなさい。

- ア 嘲笑
- イ 差別
- ウ 無関心
- エ 冷たさ
- オ やさしさ

問七 空欄Fを補うのに、もつとも適当なものを次の中から選んで、記号で答えなさい。

- ア 他者に対する信頼
- イ 自分に対する信頼
- ウ 他者に対する信用
- エ 自分に対する信用
- オ 信頼と安心

問八 傍線部『不確実性』に開かれているか、閉じているか」とあるが、『不確実性』に開かれている」とは、どのような状態か、二〇字以上、二五字以内で説明しなさい。

問九 傍線部「被る」の読みを平仮名で答えなさい。

問一〇 傍線部「自分の価値観を押しつけてしまい」とあるが、自分の価値観の押し付けではないものはどれか、もっとも適当なものを次の中から選んで、記号で答えなさい。

ア これをしてあげたら相手は助かるだろう。

イ これをしてあげるのだから相手は喜ぶはずだ。

ウ これをしてあげているのに相手が感謝しないのはおかしい。

エ 相手のためにいろいろしてあげる自分は自己を犠牲にしている。

オ 自分のすることを相手がどう思うかは分からないので、見返りは期待しない。